

北海道医療大学大学院薬学研究科FD講演会

異物応答性核内受容体を基盤とした 薬物の代謝・安全性研究

講師：吉成 浩一 氏

(静岡県立大学 薬学部衛生分子毒性学分野／教授)



講演概要

核内受容体は低分子リガンドに応答して遺伝子発現を調節する受容体型の転写調節因子であり、様々な生理機能や疾患の発症、薬物等の化学物質による毒性発現に関わっている。吉成先生の研究室では、薬物代謝酵素の誘導に関わる核内受容体として見出されたCARとPXRに着目し研究を進めている。

PXRは主要な薬物代謝酵素CYP3A4の誘導に中心的にはたらくこと、またCARは典型的な酵素誘導薬であり、肝発がんプロモーターとしてはたらくフェノバルビタールに応答することが知られている。本講演では、CAR及びPXRの基本的な機能である酵素誘導とその薬物間相互作用への関与について紹介するとともに、最近、同研究室が見出した両受容体のユニークな肝細胞増殖及び肝発がんの調節機構について紹介する。

日時：令和4年2月24日 16:30～17:40

場所：P-1講義室およびオンライン(Zoom)

学部学生・大学院生・教職員、どなたでも参加可能です。
オンラインでの参加を希望される方は、下記URLまたは
QRコードから事前の申し込みをしてください。



<https://forms.gle/HRZhvUDCDqiHm7dKA>

主催：大学院薬学研究科・大学院薬学研究科FD委員会
問い合わせ先：薬学部・小島 弘幸 <hirokojima@hoku-iryu-u.ac.jp>